

令和8年度

甲子園大学大学院 博士前期・後期課程

学 生 募 集 要 項

栄養学研究科 食品栄養学専攻

甲 子 園 大 学

栄養学研究科の概要

本学栄養学部は昭和 42 年創設以来、人の健康保持に欠くことのできない栄養について医学、農学、保健学、家政学の学際分野を統合した体系的な栄養学教育を実施し、建学の精神である「勤勉努力、和衷協同、至誠一貫」に基づいた人間性豊かな有為な人材育成に多くの成果を上げてきた。

そこで本学では、なお一層の教育・研究の発展並びに高度化し、多様化する現代社会の要請に応えるべく、この栄養学部を基礎として平成 4 年度から栄養学研究科食品栄養学専攻修士課程を置く大学院を開設し、さらに平成 14 年 4 月から博士後期課程を開設し、同時に修士課程は博士前期課程に移行した。両課程では栄養学と食品学の 2 領域を設け、さらに栄養学領域には基礎栄養学と応用栄養学、食品学領域には食品分析科学と食資源利用学のそれぞれ 2 部門を配置している。

栄養学研究科のアドミッションポリシー

【博士前期課程】

甲子園大学大学院栄養学研究科博士前期課程では、以下の要件を満たす人を受け入れる。

- (ア) 食料生産や栄養学、食品学に関連する知識・経験を有している。
- (イ) 専門的な学識や技術を活かして社会に貢献することを目指している。

【博士後期課程】

甲子園大学大学院栄養学研究科博士後期課程では、以下の要件を満たす人を受け入れる。

- (ア) 基礎栄養学、応用栄養学、食品分析科学、食資源利用学のいずれかの部門における博士前期課程を修了、もしくはこれと同等の栄養学、食品学関連の深い知識・経験を有している。
- (イ) 大学や企業および各種の試験研究機関において活躍できる自立した研究者、教育者を目指すとともに、社会活動や学術研究を積極的に推進する指導者を目指している。

1 募 集 人 員

研 究 科	専 攻	課 程	募集人員
栄養学研究科	食品栄養学専攻	博士前期課程	6 名
		博士後期課程	2 名

2 出 願 資 格

博士前期課程

- (1) 大学を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法の規定により学士の学位を授与された者及び令和 8 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者
- (7) 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

博士後期課程

- (1) 修士の学位を有する者及び令和 8 年 3 月までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 8 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者、及び、令和 8 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者
- (5) 本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

注）上記博士前期課程の(6)又は博士後期課程の(4)により出願を希望する者は、8 頁の「出願資格審査の申請」の項を参照のうえ、所定の手続を行うこと。

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、筆記試験、口頭試問、及び、提出書類を資料とし、これらを総合して行う。

4 試験日及び試験科目

○ 博士前期課程

A方式

年 月 日	区 分	試 験 時 間	備 考
第1次 令和7年 9月 3日 (水)	外 国 語 (英 語)	9:30～11:00	辞書の持ち込みを認める。 (電子辞書の持ち込みは認めない。)
	専門科目	11:10～12:40	入学後専修を希望する部門から 2問、その他の部門から2問を選 択し計4問を解答する。
第2次 令和8年 1月 28日 (水)	口頭試問	13:30～	入学後専修を希望する部門に関す ることについて行う。

B方式 (社会人対象)

年 月 日	区 分	試 験 時 間	備 考
第1次 令和7年 9月 3日 (水)	外 国 語 (英 語)	9:30～11:00	辞書の持ち込みを認める。 (電子辞書の持ち込みは認めない。)
	研究または職業 経験、および、 研究希望等調書 に関するプレゼ ンテーション	11:10～	各自15分間発表し (パワーポイント による発表や、ポスター、配布資料 など、形式自由、ただし事前に大学院 事務室の了解を得ること)、その後、 発表に関する10分間の質疑応答。
第2次 令和8年 1月 28日 (水)			

【注】 B方式における社会人とは、入学時において、大学卒業後1年以上でかつ23歳以上の者とする。

○ 博士後期課程

年 月 日	区 分	試験時間	備 考
第1次 令和7年 9月 3日 (水)	外 国 語 (英 語)	9:30～11:00	辞書の持ち込みを認める。 (電子辞書の持ち込みは認めない。) 内部進学者は免除する。
	研究または職業 経験、および、 研究希望等調書 に関するプレゼ ンテーション	11:10～	各自20分間発表し (パワーポイント による発表や、ポスター、配布資 料など、形式自由、ただし事前に大学 院事務室の了解を得ること)、その後、 発表に関する15分間の質疑応答。
第2次 令和8年 1月 28日 (水)			

5 試 験 場

甲子園大学 兵庫県宝塚市紅葉ガ丘10番1号

6 出願受付期間

第1次	令和7年8月8日（金）～8月22日（金）
第2次	令和8年1月6日（火）～1月16日（金）

7 出願手続

(1) 提出書類等

書 類 等	備 考
入学志願票・写真票 受験票・副票	① 本学所定の用紙(裏面を含む)に本人が必要事項を記入したもの ② 写真（出願前3カ月以内に撮影した上半身、無帽正面向きで、縦5cm、横4cmのもの）を写真票の所定欄に貼り付けること
成績証明書 卒業(見込み)証明書 修了(見込み)証明書	① 博士前期課程 志願者は、出身大学の成績証明書及び卒業（見込み）証明書（出身大学長又は学部長が証明し、これを厳封したもの） ② 博士後期課程 志願者は、出身大学の学部及び大学院の成績証明書並びに大学院修士課程（博士前期課程）修了（見込み）証明書（出身大学長又は学部長、研究科長が証明し、これを厳封したもの）
修士学位論文等	博士後期課程 志願者は、修士学位論文の写し及び修士論文の要旨（2,000字程度） 修士の学位を取得見込みの者は、これに代え研究経過の概要（2,000字程度）
研究希望等調書 研究計画書	本学所定の用紙に本人が必要事項を記入したもの 博士前期課程 志願者…「研究希望等調書」 博士後期課程 志願者…「研究計画書」
受験承諾書	他の大学院在学者又は官公庁、会社等に在職中の者は、本学所定の用紙に所属研究科長又は所属機関の長が承諾したもの
（日本国に居住している 外国人のみ） 住民票	国籍・地域、在留カード番号、在留資格および在留期間が記載されたもの
入学検定料	30,000円（出願を郵送で提出する場合は、郵便普通為替とし、受取人指定欄及び住所欄は、記入しないこと）
受験票返送用封筒	出願を郵送で提出する場合は、定形長3号（12cm×23.5cm）の封筒に 簡易書留速達郵便料 760円分の切手を貼付し、受取人の住所、氏名を明記したもの

注) 1 **博士前期課程**の出願資格 (2) により出願する者

独立行政法人大学評価・学位授与機構より学位を授与された者は、同機構が証明した学位授与証明書（授与見込みの者は、学位授与申請受理証明書）並びに最終学校及び科目等履修に関する学業成績証明書等を提出すること。

2 提出書類は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入すること。

3 提出された書類は、入学者選抜に関する目的にのみ利用し、その他の目的には使用しません。

(2) 出願受付

場 所 甲子園大学大学院事務室
〒665-0006 兵庫県宝塚市紅葉ガ丘 10 番 1 号
時 間 平 日 午前 9 時 30 分～午後 4 時

(3) 出願時の注意

- (1) 出願にあたっては、志望する専門科目の研究内容、社会人（有職者）にあつては授業科目の履修方法等に関する照会は、下記に問い合わせること。

なお、この問い合わせは出願開始日より少なくとも 1 カ月以上前に行うこと。

問い合わせ先 大学院事務室 0797-87-5111

- (2) **郵送により出願する場合は書留速達郵便**とし、封筒の表に「大学院栄養学研究科出願書類」と朱書きし、上記あてに締切日（当日消印有効）までに送付すること。
- (3) 出願期間内に所定の書類が完備しない出願は受理しない。また、提出された書類及び入学検定料は、事由を問わず返還しない。
- (4) 出願者は、出願前に指導を希望する教員と研究計画等について協議しておくこと。

8 合 格 発 表

第 1 次	令和7年9月24日(水) 午前10時	本学内に掲示するとともに合否にかかわらず全員に通知する。 電話等による問い合わせには、応じない。
第 2 次	令和8年2月20日(金) 午前10時	

9 入 学 手 続

- (1) 入学試験合格者は、次表の入学手続期限までに入学手続書類を提出すること。
- 入学金は、次項「10 入学金及び授業料等」により、納入期限までに全額を納入すること。
- (2) 上記入学手続者には、入学許可書を送付する。
- (3) 所定の期限までに入学手続を完了しない者には、入学を許可しない。
- (4) 入学手続者のうち卒業（修了）見込み又は学位授与見込みで受験した者は、令和 8 年 3 月末日までに卒業証明書（修了証明書）又は学位授与証明書を提出すること。この証明書の提出がない場合は、入学許可を取り消す。
- (5) 入学許可書を受領した者は、次表の授業料等納入期間内に授業料及びその他の納入金を納入すること。（次項「10 入学金及び授業料等」を参照のこと）
- この期間内に納入がない場合は入学許可を取り消す。

- (6) 受理した入学手続書類及び入学金、授業料等については、事由を問わず返還しない。ただし、授業料等の返還希望を申し出て、次表の提出期限までに、本学所定の入学辞退届を提出した者に限り、入学金を除く授業料等を返還する。

区 分	入学手続期限	授業料等納入期間	入学辞退届提出期限
第1次試験合格者	令和7年 10月10日(金)	令和8年 1月 7日(水) 1月16日(金)	令和8年 3月27日(金) 午後3時
第2次試験合格者	令和8年 2月27日(金)	令和8年 2月20日(金) 2月27日(金)	令和8年 3月27日(金) 午後3時

10 入学金及び授業料等

(1) 入学金

入学金は、下記の金額を納入期限までに一括して納入してください。

博士前期課程 200, 000 円

博士後期課程 250, 000 円

区 分	納 入 期 限
第1次試験合格者	令和7年10月10日 (金)
第2次試験合格者	令和8年 2月 27日 (金)

(2) 授業料等

授業料、実験実習費、施設設備費は、分割納入制を採用しておりますが、納入者の希望により前期納入金、後期納入金ごと一括納入もできます。

次表の金額を納入期限までに納入してください。

◎ 分割納入（博士前期課程・博士後期課程）

区 分		授 業 料	実験実習費	施設設備費	計	納 入 期 限
前 期 納入金	一 次 納入金	121, 500	30, 000	18, 500	170, 000	第1次試験合格者 令和8年 1月16日(金) 第2次試験合格者 令和8年 2月27日(金)
	二 次 納入金	121, 500	30, 000	18, 500	170, 000	令和8年 7月17日(金)

後 期 納入金	一 次 納入金	121,500	30,000	18,500	170,000	令和8年10月20日(火)
	二 次 納入金	121,500	30,000	18,500	170,000	令和9年 1月20日(水)

◎ 一括納入（博士前期課程・博士後期課程）

区 分	授 業 料	実験実習費	施設設備費	計	納 入 期 限
前期納入金	243,000	60,000	37,000	340,000	第1次試験合格者 令和8年 1月16日(金) 第2次試験合格者 令和8年 2月27日(金)
後期納入金	243,000	60,000	37,000	340,000	令和8年10月20日(火)

(3) その他の納入金

入学金、授業料等のほかに、公益財団法人日本国際教育支援協会の学生教育研究災害傷害保険料等を納入していただきます。詳しくは、合格通知書送付時にお知らせします。

11 奨学金制度

甲子園大学奨学金並びに独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度があります。

12 長期履修学生制度

職業を有しておられる社会人の方々の学修機会を拡大する観点から、甲子園大学大学院では2015（平成27）年度から「長期履修学生制度」を導入しています。

この制度は、職業を有している等の事情で、通常の修業年限（博士前期課程は2年、博士後期課程は3年）で修了することが困難な方が標準修業年限を超える履修期間を設定し、計画的に課程を修了するためのものです。

詳細は大学院事務室までお問い合わせください。

出 願 資 格 審 査 の 申 請

博士前期課程の出願資格(6)又は博士後期課程の出願資格(4)により出願を希望する者は、出願前に資格審査を行うので、資格審査申請書類を大学院事務室へ請求すること。

(1) 審査方法

書 類 審 査

(2) 提出書類

- ① 出願資格審査申請書（本学所定の用紙）
- ② 履 歴 書（本学所定の用紙）
- ③ 最終学歴の卒業証明書
- ④ 最終学歴の成績証明書
- ⑤ 学習歴、教育歴、実務・活動経験歴に関する申立書（本学所定の用紙）及びそれらを証明する資料

(3) 申請期間

第1次 令和7年 7月16日（水）～18日（金）

第2次 令和7年11月 5日（水）～ 7日（金）

(4) 申請受付

場 所 甲子園大学大学院事務室

〒665-0006 兵庫県宝塚市紅葉ガ丘10番1号

時 間 平 日 午前9時30分～午後4時

郵送により申請する場合は書留速達郵便とし、封筒の表に「大学院出願資格審査書類」と朱書きし、上記あてに締切日（当日消印有効）までに送付すること。

(5) 審査結果通知

第1次 令和7年 8月 1日（金）

第2次 令和7年11月21日（金）

出願資格審査の結果は、申請者に対し、上記期日までに文書により通知する。

受 験 上 の 注 意

筆 記 試 験

- ① 受験者は、各自が受験する試験科目の試験開始時刻の 30 分前までに、大学院事務室で試験室を確認のうえ、当該試験室に入室してください。
- ② 試験室に入室後は、座席表を確認のうえ、各自の受験番号の示されている座席に着席し、受験票を机の上に置いてください。
- ③ 受験票は必ず持参してください。万一紛失又は忘れた場合は、試験開始までに大学院事務室まで申し出て、仮受験票の交付を受けてください。
- ④ 試験開始の合図があるまでは、配布された問題紙、解答用紙に手を触れないでください。
- ⑤ 配布された問題紙、解答用紙には、必ず受験番号を記入してください。氏名は記入しないでください。
- ⑥ 試験中に机の上に置くことができるものは、受験票、筆記具、消しゴム及び計時用の時計のみとします。その他の手荷物はカバン等に入れ、各自の足もとに置いてください。
- ⑦ 携帯電話を持参する者は、試験終了まで電源を切っておいてください。
- ⑧ 試験開始時刻後 30 分以上遅刻した場合は、受験することはできません。
- ⑨ 試験終了の合図とともに答案の作成を中止し、着席したまま監督者の指示に従ってください。

口 頭 試 問

- ① 受験票は必ず持参してください。万一紛失又は忘れた場合は、試問開始までに大学院事務室まで申し出て、仮受験票の交付を受けてください。
- ② 口頭試問開始時刻後 30 分以上遅刻した場合は、受験することはできません。
- ③ 昼食及び湯茶の必要な者は、各自持参してください。

プレゼンテーション試験

- ① プレゼンテーションに使用する資機材などについて、使用可能かどうか出願前に大学院事務室に照会、了承を得てください。
- ② 受験票は必ず持参してください。万一紛失又は忘れた場合は、試問開始までに大学院事務室まで申し出て、仮受験票の交付を受けてください。
- ③ **プレゼンテーション試験開始時刻後** 30 分以上遅刻した場合は、受験することはできません。
- ④ 昼食及び湯茶の必要な者は、各自持参してください。

栄養学研究科・食品栄養学専攻（博士前期課程）の教育課程

令和7年4月現在

	領域	部門	授業科目	単位数		担当教員	
				必修	選択		
講義科目	栄養学	基礎栄養学	基礎栄養学特論Ⅰ		2	教授 鈴木 秀之 准教授 瀬尾 誠	
			基礎栄養学特論Ⅱ		2	教授 亀尾 聡美 教授 佐々木 裕子	
		応用栄養学	応用栄養学特論Ⅰ		2	教授 石田 哲夫 教授 西田 昌司	
			応用栄養学特論Ⅱ		2	准教授 檜野 いく子	
	食品学	食品分析科学	食品分析科学特論Ⅰ		2	教授 釜阪 寛 専任講師 鈴木 大介	
			食品分析科学特論Ⅱ		2	准教授 佐藤 典子 准教授 谷澤 容子	
		食資源利用学	食資源利用学特論Ⅰ		2	教授 浅見 淳之 教授 木本 実	
			食資源利用学特論Ⅱ		2	教授 高橋 延之 教授 林 晃	
	演習科目			食品栄養学演習Ⅰ	1		各教員
				食品栄養学演習Ⅱ	1		各教員
特別講義				2		教授 伏木 亨	
特別研究				16		各指導教員	

（注）必修 20 単位、講義科目 10 単位を含み 30 単位以上修得すること。

栄養学研究科・食品栄養学専攻（博士後期課程）の教育課程

令和7年4月現在

領域	部門	授業科目	単位数	担当教員
栄養学	基礎栄養学	基礎栄養学研究Ⅰ	8	教授 亀尾 聡美
		基礎栄養学研究Ⅱ		教授 佐々木 裕子
		基礎栄養学研究Ⅲ		教授 鈴木 秀之
		基礎栄養学研究Ⅳ		准教授 瀬尾 誠
		基礎栄養学研究Ⅴ		未定
	応用栄養学	応用栄養学研究Ⅰ		教授 西田 昌司
		応用栄養学研究Ⅱ		教授 石田 哲夫
		応用栄養学研究Ⅲ		准教授 檜野 いく子
		応用栄養学研究Ⅳ		未定
		応用栄養学研究Ⅴ		未定
食品学	食品分析科学	食品分析科学研究Ⅰ		教授 釜阪 寛
		食品分析科学研究Ⅱ		教授 伏木 亨
		食品分析科学研究Ⅲ		准教授 佐藤 典子
		食品分析科学研究Ⅳ		専任講師 鈴木 大介
		食品分析科学研究Ⅴ		准教授 谷澤 容子
	食資源利用学	食資源利用学研究Ⅰ		教授 浅見 淳之
		食資源利用学研究Ⅱ		教授 木本 実
		食資源利用学研究Ⅲ		教授 高橋 延行
		食資源利用学研究Ⅳ		教授 林 晃之
		食資源利用学研究Ⅴ		未定

(注) 1科目8単位を修得すること。

大学院担当教員の主な研究内容

博士前期課程・後期課程

令和7年4月現在

栄養学領域

部 門	担当教員	研究分野	主な研究内容
基礎栄養学	教 授 博士（環境科学） 亀尾 聡美	公衆衛生学 環境保健学	必須微量元素と健康に関する研究 客観的疲労評価と微量元素欠乏・食生活状況との関連 金属結合タンパク質の生体防御としての役割
	教 授 博士（家政学）・ 管理栄養士 佐々木 裕子	基礎栄養学	発酵食品における生理活性物質の検索と機能性食品の開発
	教 授 農学博士 鈴木 秀之	応用微生物学	バクテリアの γ -グルタミルトランスペプチダーゼに関する研究 バクテリアのポリアミン代謝経路に関する研究
	准教授 博士（薬学）・薬剤師 瀬尾 誠	分子栄養学 病態生化学	生活習慣病の発症予防・改善効果をもつ食品成分に関する研究 抗ストレス効果をもつ食品成分に関する研究
応用栄養学	教 授 医学博士・医師 西田 昌司	細胞生物学	病気の細胞モデルにおけるストレス応答の研究
	教 授 博士（医学）・医師 石田 哲夫	臨床分析化学 酵素化学	疾患を早期に発見するのに役立つバイオマーカーの探索 新規酵素を無脊椎動物から見つけ臨床分析に応用する研究
	准教授 博士（医学）・ 管理栄養士 檜野 いく子	公衆栄養学 予防医学	栄養と環境を配慮した持続可能な食生活に資する疫学研究及び実装研究

大学院担当教員の主な研究内容

博士前期課程・後期課程

令和7年4月現在

食品学領域

部 門	担当教員	研究分野	主な研究内容
食品分析科学	教 授 博士（農学） 釜 阪 寛	食品嗜好学	各種嗜好食品の官能特性およびその嗜好性に関して、官能パネルおよび嗜好調査を用いて評価・解析することで、その嗜好特性を明らかにする。
	教 授 農学博士 伏 木 亨	食嗜好科学	各種の食品や料理の総合的な嗜好性の評価と嗜好の理由を人のパネルを用いた解析によって数値化する。
	准教授 博士（学術） 佐 藤 典子	食品学	食品加工中に生じる難消化性ペプチドに関する研究 食生活における未利用資源の活用
	准教授 博士（学術） 谷 澤 容子	調理科学	農産食品の調理加工におけるテクスチャー特性に関する研究 西欧・アジアの日常食に関する実態調査
	専任講師 博士（農学） 鈴 木 大介	食品嗜好学	主に官能評価による食品の品質および嗜好性に関する研究 新しい官能評価手法に関する研究
食資源利用学	教 授 農学博士 浅 見 淳之	食料経済学	食資源の生産を担う農村経済の経済分析 食資源を消費者に届けるフードシステムの経営分析
	教 授 農学修士 木 本 実	食品製造学	大豆蛋白質を酵素分解し、製造したペプチドの特性研究と応用開発
	教 授 農学博士 高 橋 延行	食品科学	食品機能特性に及ぼすたんぱく質構造の影響に関する研究 たんぱく質の安定性に関する構造生物学的研究
	教 授 博士（理学） 林 晃之	植物機能学 細胞生物学	作物の収量や品種、成分及び各種耐性に関わる遺伝子やタンパク質の働きに関する研究

甲子園大学栄養学研究科志願票

令和8年度

										受験 番号	※
志 願 者 欄	ふりがな					性別	男 ・ 女	生 年	西暦 年 月 日 生 (満 才)		
	氏 名							月 日			
	出願資格	大学 学部 学科				西暦 年 月 日					
		大学大学院 研究科 専攻				卒業（修了） ・ 卒業見込（修了見込）					
	志望課程	博士前期課程・博士後期課程志願者共通									
	志望部門	博士前期課程	基礎栄養学部門	食品分析科学部門	受験方式		A方式				
	受験方式	博士後期課程	応用栄養学部門	食資源利用学部門			B方式				
現 住 所	〒 TEL () -								本 籍 地	都 道 府 県	
連 絡 先	〒 TEL () -										

- (注) 1 ※印欄を除く該当欄に必要事項を記入し、該当する箇所に○を付すこと。
2 裏面の「履歴書」欄を記入すること。

令和8年度
甲子園大学栄養学研究科

写真票

受 験 番 号	※
ふりがな	
氏 名	
写真貼付欄 ここに出願前3ヵ月以内に撮影した上半身 無帽正面向の写真(5cm×4cm)をはること	
A方式 B方式 (いずれかを○で囲んで下さい)	
志望部門 (A・B共通)	

注) ※印欄を除く該当欄に記入し、所要の箇所に○を付すこと。

令和8年度
甲子園大学栄養学研究科

受験票

受 験 番 号	※	
ふりがな		
氏 名		
試験日	第1次	令和7年9月3日(水)
	第2次	令和8年1月28日(水)
合格 発表日	第1次	令和7年9月24日(水)
	第2次	令和8年2月20日(金)
A方式 B方式 (いずれかを○で囲んで下さい)		
志望部門 (A・B共通)		
本票をもって入学検定料 (30,000円)受領書とする		

注) ※印欄を除く該当欄に記入し、所要の箇所に○を付すこと。

令和8年度
甲子園大学栄養学研究科

副 票

受 験 番 号	※
ふりがな	
氏 名	
現住所	〒 TEL () -
出 身 大 学 大学院	
入学手続会計処理	
入 学 金	※
前期学費	※
本票をもって入学検定料 (30,000円)受領書とする	
領収印欄※	入学検定料 30,000円

注) ※印を除くすべての欄に記入すること。

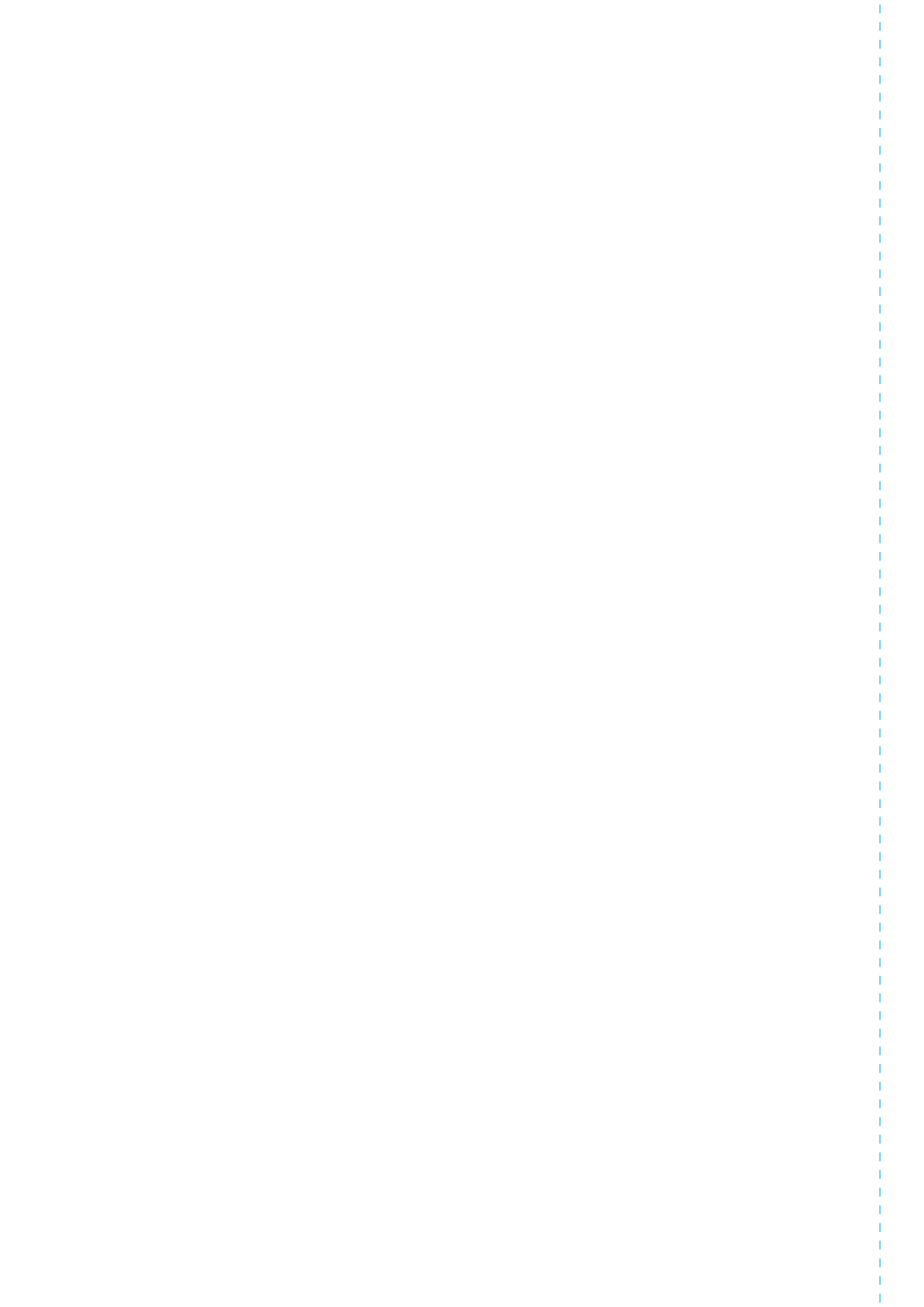
履歴書		
区分	年 月 日	記載事項
学歴	西暦 . .	
	西暦 . .	
	西暦 . .	
	西暦 . .	
	西暦 . .	
職歴	西暦 . .	
	西暦 . .	
	西暦 . .	
賞罰	西暦 . .	
	西暦 . .	

（注） 「学歴」欄は、卒業した高等学校から最終学歴までの入学、卒業・修了（見込）について記入すること。

[illegible]

2 入学後の研究については、学生募集要領の「大学院担当教員の主な研究内容」等を考慮して記入すること。

3 黒インク又は黒ボールペンを用い、丁寧に記入すること。



研究計画書

甲子園大学大学院栄養学研究科博士後期課程

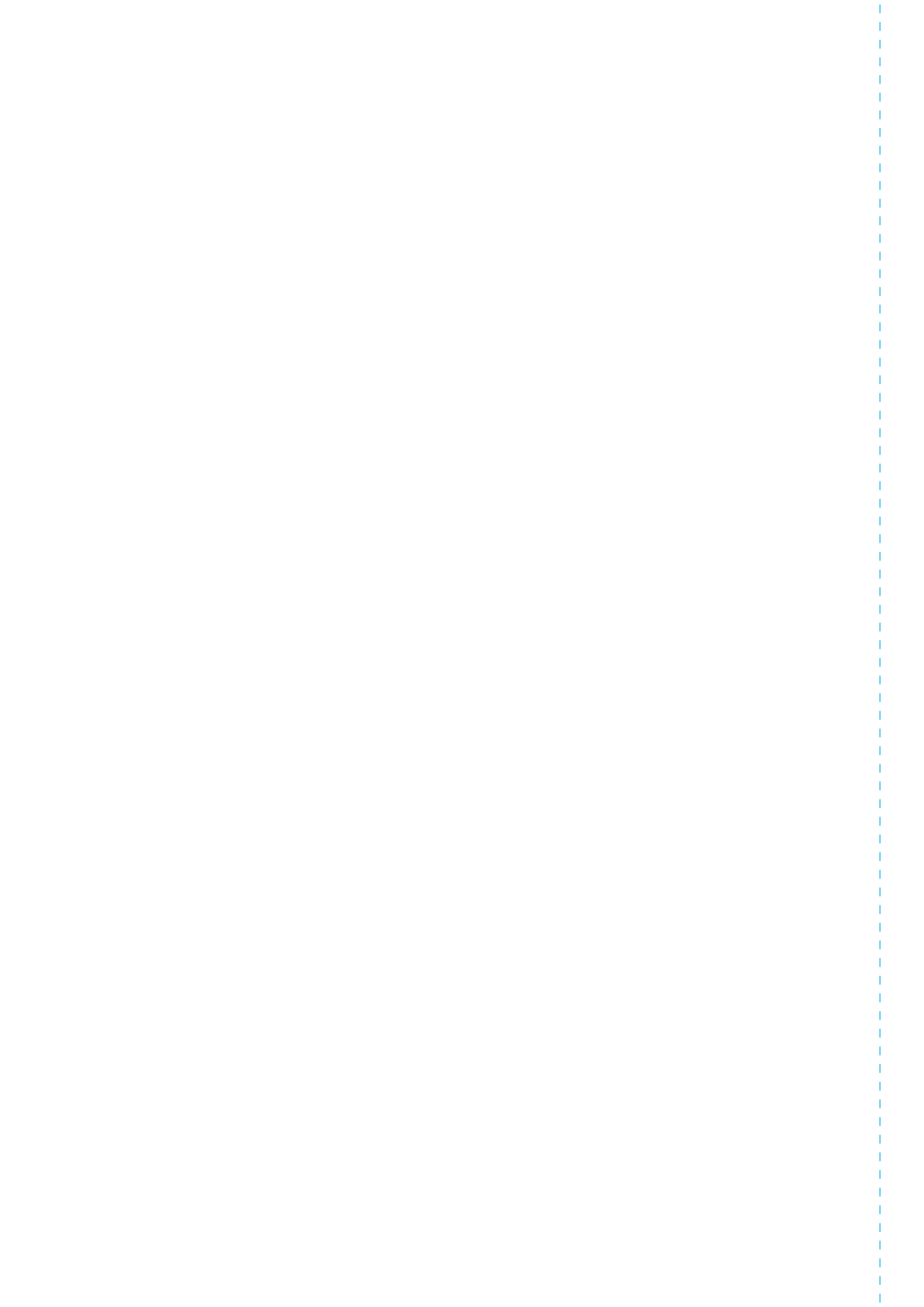
研究計画書 甲子園大学大学院栄養学研究科博士後期課程			受験番号 ※	
ふりがな 氏名	昭和 年 月 日生 平成 (歳)	男 女	志望部門	

研究課題	
------	--

希望する研究分野		指導希望教員氏名	
----------	--	----------	--

[illegible]

- 〔注〕 1 ※印欄を除く該当欄に記入するとともに、所要の箇所を○で囲むこと。
2 研究課題以下については、学生募集要領の「大学院担当教員の主な研究内容」等を考慮して記入すること。
3 黒インク又は黒ボールペンをを用い、丁寧に記入すること。



受 験 承 諾 書

甲 子 園 大 学 長 殿

このたび、_____が貴大学大学院栄養学研究科食品栄養学
専攻（博士 _____ 課程）を受験することを承諾します。

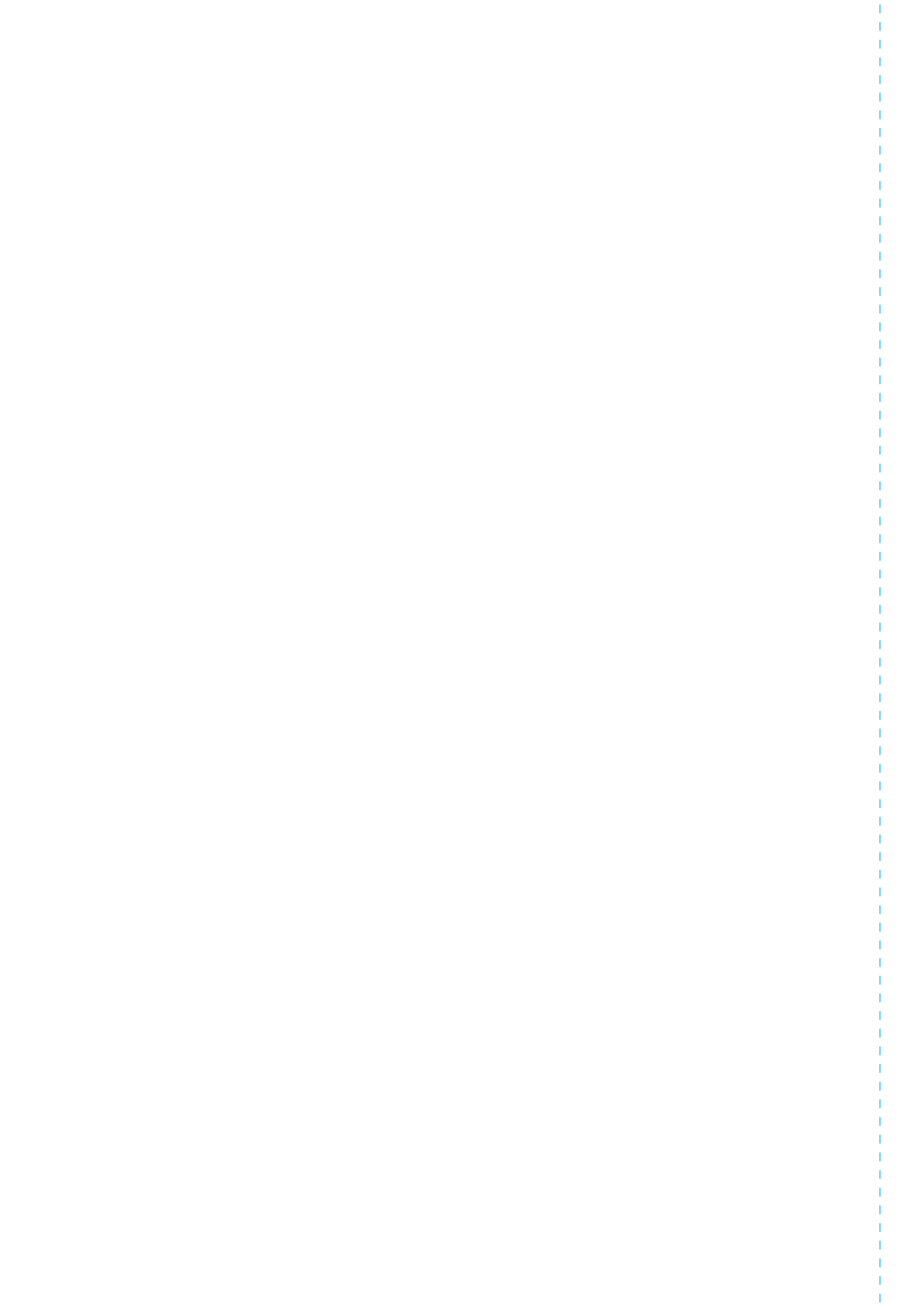
また、本人が貴大学大学院に入学した場合、在職のまま在学することを認
めます。

令和 年 月 日

（所属機関・長の職名）

（氏 名）

⑩



・ 問い合わせ先 ・

甲子園大学 大学院事務室

〒665-0006 宝塚市紅葉ガ丘10番1号

TEL 0797-87-5111

FAX 0797-87-5666

URL <http://www.koshien.ac.jp>